

教育委員会定例会協議報告事項

令和7年5月20日

【報告事項】

- 長岡市出産・子育て応援給付金事業実施要綱の廃止について

(子ども政策課 資料P 1～2)

- 令和6年度 第2回長岡市スポーツ推進審議会報告について

(スポーツ振興課 資料P 3)

長岡市出産・子育て応援給付金事業実施要綱の廃止について

本要綱の廃止は、市長の補助執行として行い、長岡市として公表するため、報告事項とする。

1 廃止理由

長岡市出産・子育て応援給付金事業を開始するにあたり要綱を制定したが、これに代わる事業として、国が妊婦のための支援給付を令和7年度から制度化するため、廃止するもの

2 施行日

令和7年4月1日

長岡市出産・子育て応援給付金事業実施要綱を廃止する要綱
長岡市出産・子育て応援給付金事業実施要綱(令和5年長岡市告示第87号)は、廃止する。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和7年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(経過措置)

- 2 施行日前において出産応援給付金支給対象者であり、かつ、災害その他その者の責めに帰されないやむを得ない特別な事情により出産応援給付金の支給を受けていない者に対する出産応援給付金の支給については、なお従前の例による。この場合において、廃止前の第5条の規定の適用については、同条中「出産日の前日(流産又は死産の場合は、出生予定日の前日)(災害その他申請者の責めに帰されないやむを得ない特別な事情により妊娠中に支給の申請ができなかった場合は、当該やむを得ない特別な事情が終了した後3月以内)」とあるのは、「当該やむを得ない特別な事情が終了した後3月以内の日又は令和8年3月31日の前日のいずれか早い日」とする。
- 3 施行日前において子育て応援給付金支給対象者であり、かつ、子育て応援給付金の支給を受けていない者に対する子育て応援給付金の支給については、なお従前の例による。この場合において、廃止前の第9条の規定の適用については、同条中「令和6年3月31日」とあるのは「令和7年3月31日」と、「令和7年3月31日」とあるのは「令和8年3月31日」とする。

令和6年度 第2回長岡市スポーツ推進審議会報告

1 開催日時及び会場

- (1) 日時 3月21日(金曜日) 午前10時から正午まで
- (2) 会場 さいわいプラザ4階 教育委員会会議室

2 出席者

- ・ 長岡市スポーツ推進審議会委員10名(定員12名、佐藤委員、淡路委員欠席)
- ・ オブザーバー:(公財)長岡市スポーツ協会権沢常務理事兼事務局長ほか1名
- ・ 長岡市教育委員会学校教育課 石川部活動地域移行担当課長
- ・ 事務局:伊藤市民協働推進部長、中山スポーツ振興課長ほか職員7名

3 会議内容(議題)

- (1) スポーツに関わる人を増やす取組の方向性について(協議)
- (2) 令和7年度主要事業の概要について(報告)
- (3) 中学校部活動地域移行について(報告)
- (4) 地域のスポーツ推進団体について(課題共有)

4 委員から出された主な意見

議題(1) スポーツに関わる人を増やす取組の方向性について(協議)

- ・ 市やスポーツ協会が行うものは誰でも参加できるが、自分からアクションを起こさないといけないものが多い。企業内でもスポーツクラブがあると思うが、各自が所属している既存のコミュニティの中で継続的にできるスポーツ活動を作っていく支援も一つの発想だと思う。
- ・ お互いが個人主義に配慮する空気感は非常に強くなっていると思う。地域コミュニティや企業でも、必要以上の関わりを持つことへの配慮は数十年前と比べると強くなっている。誘われたら行ってみたい人や、きっかけがあれば自分の周りに声をかける人、みんなで運動したいという人は地域にたくさん埋もれていると思う。個人主義の時代だから、みんなにジョギングさせることを考えるよりも、市民へのきっかけづくりを検討した方がいいのではないか。
- ・ eスポーツはボッチャと同じように誰にでも親しまれて場所も取らないし良いと思う。サッカー場や野球場がスポーツという雰囲気だが、考え方を変えて、どこでも楽しめる、そういうものを広めるのがいいのではないか。自分たちが学生の時のものがスポーツだというような、潜在意識を変えないといけない。
- ・ 20代から40代の子育て中の親を取り込むことを考えると、子どもをどう預けるか、子どもと一緒にするのか、子どもは別の行動をするのかなど、子どもをどうするかを考えていく必要がある。大学と小学校が連携した取組のなかで、親はエアロビクス、子どもは料理教室と、親子で参加できるものがある。親は、子どもが料理をしているのを見ながらスポーツが出来るイベントで、とても楽しみにしている人もいる。全てスポーツでなくても、きっかけ作りになる。